



# MARUHON

MEDICAL DIV. / HOME MEDICAL DEPT.

For More Comfortable



より快適なH O Tライフのための広報誌

2022  
MAR.

第50号

# H O T で スマイル

巻頭  
特集

## 患者さんとの出会いや学びを 診療に生かしていきたい



緩和ケア診療所・いっぱい様 高崎市京目町 790

当院は現理事長の小笠原が「ペインクリニック小笠原医院」として1991年7月に開院しました。緩和ケアや在宅医療がまだ浸透していない時代に患者の権利の尊重を掲げ、痛みの外来と共に在宅ホスピスケアに取り組んできました。現在は名前を「緩和ケア診療所いっぱい」に改め、機能強化型在宅支援診療所として、より在宅医療に重きをおいた診療を行っています。

主に癌の方を対象としていますが、その他にも神経難病で苦痛症状のコントロールが困難な方や家で最期を迎えたい方なども対応しています。

緩和ケアというと今でも最後の医療とかわられてしまうこともあります。癌治療初期から、またその他の疾患に対しても必要であることが広く認識されつつあります。当院は緩和ケア外来も行っており、他院で治療中の方でも苦痛症状の緩和や今後の療養の相談にのらせていただいています。在宅医療のことが

分からない、迷っているけど話を聞いてみたいという方には看護師による無料の相談外来も行っています。

ご自宅に伺うと、ご家族の写真や表彰状などが飾られていて、そ



半径 16km 以内であれば訪問診療いたします

の方の人柄や今までの歩みを感じることが出来ます。家にいるだけで安心された豊かな表情になり、住み慣れた家で過ごせることの大切さを実感させられます。

訪問診療では病気のことだけではなく、今までどのように過ごしてこられたのか、大切にしてきたことなども伺います。好きなことの話になると別人のように生き生きと話して下さり驚くこともあります。ご家族とも療養の相談などたくさんお話をしますが、その熱心さや愛情に学ばせられることも数多くあります。

患者さんとの出会いや学びをこれからも診療に生かしていきたいと思っています。



医療法人一步会  
緩和ケア診療所・いっぱい  
院長

竹田 果南先生



群馬県桐生市  
河野 未奈さん（8）  
（HOT 歴 7 年 1 カ月）

## 笑顔いっぱいの毎日

現在 8 歳の娘、未奈は生まれてすぐに低酸素となり専門の病院に救急搬送されました。そこで心臓に大変重い疾患があるとわかりました。何度もの手術を乗り越えてくれましたが、低酸素性虚血性脳症を合併してしまいました。

心臓手術と手術の間の在宅療養となったときからHOTを始め、心臓の循環が落ち着いてからは一時中止しました。しかし、脳症による呼吸状態の悪化で現在は夜間のNPPV（非侵襲的陽圧換気）での酸素と日中体調により鼻カテでの酸素吸入をしています。

酸素やNPPVで呼吸が安定してからは、笑顔いっぱいの毎日です。家族はその笑顔に癒され頑張っています。

何につけても笑顔を振りまいてくれるのですが、私に怒られている時の長男（未奈の兄）には特に優しい笑顔を向けています。未奈は人と関わることが大好きです。今は学校、放課後等デイサービス、リハビリなどを利用し周りの方々に支えられ楽しく生活しています。学校やデイサービスではお友達も出来ました。

コロナが終息したら家族で大好きなお出かけをたくさんしたいです。泊りだとマルホンさんにはボンベをたくさん持ってきてもらうことになり、お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。



笑顔に癒やされます



家族でお出かけ

足利市にお住いの山本教彦さん（HOT 歴 2 年、81 歳）に宝物を紹介いただきました。それは「なでなで地蔵」と呼ばれるお地蔵さんです。

理由を伺うと、このお地蔵さんをなでなでするとご利益があるそうで、山本さん自身今まで肺炎に 5 回なったそうなのですが、そんな時もこのお地蔵さんをなでたり守るようにしていたら体調がよくなったと嬉しそうにお話しされていました。

たまたまかもね～とも仰っていましたが今でも日々大切にされているとのこと。

また、山本さんはお蕎麦屋さんを経営しているのですが、お店の名前は「地蔵そば」と言い、なでなで地蔵がモチーフになったそうで、ここにも地蔵パワーを感じました。機会があればぜひ食べに行ってみたいです。



なでなで地蔵様



お店の名もお地蔵さまにちなんで命名



大切なお地蔵さまと

## HOT なミニ特集

### 児童発達支援 & 放課後デイサービス ばんび

桐生市で「児童発達支援 & 放課後等デイサービス ばんび」を運営しております一般社団法人くるみの森の河野と申します。

私共の施設ばんびは重症心身障がい児を対象とした 0~18 歳までの方の通所施設です。また、重心児以外の医療的ケアのあるお子様もご利用しています。医療的ケアとは在宅酸素療法をはじめ痰吸引、経管栄養、人工呼吸管理、導尿など日常的に自宅で家族等が行う医療行為の事を言います。

昨年医療的ケア児支援法が成立、施行され、これにより今まで保育園や幼稚園の利用を断念せざるを得なかった医療的ケア児が施設の整備に伴って通えるようになりました。しかしそれでもまだハードルが高く、だれもが利用することが難しいのが現状です。ばんびでは看護師が常時 2 名体制で医療的ケアに対応しています。また、喀痰吸引等の研修を受けた職員も吸引や胃瘻注入が行える体制を取っております。今まで自宅以外で居場所のなかった子も安心して通え、笑顔あふれる毎日を送れています。ご家族の不安、悩みなどが相談しやすい場所となるよう職員一同一緒に考え、ともに育てる姿勢で取り組んでいます。

毎日の活動では子供の出来る力を引き出すような遊び、リハビリを積極的に行っています。そして、お子様一人一人に合わせた形態で嚥下訓練なども行っています。楽しい雰囲気の中で安全に配慮して食の楽しみを感じられる工夫をしています。



お問合せは

☎0277-47-7633

ホームページ

<https://kuruminomori-bambi.jp/>



ホームページ  
QRコード



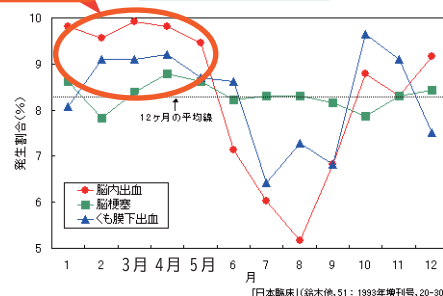
Instagram  
QRコード

## 季節ごとの健康メモ

# 脳卒中、心筋梗塞予防に水分補給を

脳卒中は冬から春にかけて多い

図 脳卒中の月別発生割合



この時期、寒暖差でまだまだ寒い日があると思いますが、これにより脳卒中や心筋梗塞の発症が増えています。これは寒さによって血圧が上昇することも一因ではありますが、水分補給も大いに関わっています。乾燥によって汗をかかなくなり、のどの乾きを自覚しにくくなる時期は水分摂取が少なくなります。水分摂取が少ないと、血液の粘度が上がり、いわゆる「ドロドロ」の状態となります。ドロドロ血液によって血管が詰まりやすくなり、結果として脳卒中や心筋梗塞を引き起こす可能性が高くなります。

脳卒中、心筋梗塞予防のためにも、冬場でも水分補給！が大切です。感染症・風邪の予防にも、うがい・手洗いに加えて「水分補給」も大事な対策のひとつです。



## HOTな社員紹介



おかじま ながゆき  
**岡島 永幸**  
前橋エリア担当

こんにちは。前橋エリア担当の岡島です。現在は主に在宅酸素療法の機器設置・説明から定期点検の巡回・ボンベ配送をこなしております。主に前橋の東エリア（旧勢多郡）を担当しています。大胡町出身なので、仕事先で同級生と会うこともしばしばあり、お互いの近況を報告しあったりすることが多くなりました。

現在は太田市に住んでいて、去年の夏から犬を飼い始めました。仕事から帰るとどんなに遅くても毎日散歩にでかけています。（さすがに先日的大雪の日は断念しました）。今までなかなか気づかなかったような地域の名所や史跡を巡ることができて、毎日が新鮮に感じています。



## 編集後記

■今年は、キウイフルーツなどの果物栽培をしたいと思っています。キウイフルーツの苗には、オスとメスの苗があり、つがいので植えないと実がならないそうです。また実が付くまでに3年かかるそうです。気が遠くなりますが頑張ろう！と思います。（オミ）

■雪も降ったりと寒さが厳しくなってきたので、夜はお風呂にゆっくり浸かっています。少し窓を開けると冷たい風が入るのですが露天風呂気分を味わえるのでオススメです。（おがた）

■私事ですが、健康面が不安になるような出来事が多く、より一層健康に気を使っていこうと思います。皆様もご自愛くださいませ。（きくち）

■今年は本厄のため先日厄除けに行ってきました。何事もなく無事に1年過ごせることを願っています。

（はしもと）

■おかげさまで「HOTでスマイル」は50号を迎えました。今号から新編集委員・新レイアウトで臨みます。どうぞお楽しみください。（すずき）